

地震津波災害対策等検討部会について

目的

最新の知見を有する学識経験者の参画を得て、科学的、客観的な立場から、一旦発生すると大阪府に甚大な被害をもたらすと考えられる、直下型地震及び南海トラフ巨大地震による被害を想定し、今後の地震防災対策立案等の基礎とするための検討を行う。

役割

地震津波被害想定における社会環境の変化や、国において示される新たな知見などを分析し、国における近畿圏直下地震及び南海トラフ巨大地震の被害想定見直しに向けた検討とも整合を図り、府内市町村ごとの詳細な被害想定を明らかにして、災害対策の方向性を検討する。

構成員（令和5年6月28日時点）

関西大学 社会安全学部社会安全研究センター長・特別任命教授	河田 恵昭（部会長）
関西大学 社会安全学部安全マネジメント学科 教授	奥村 与志弘
神戸大学 都市安全研究センター 教授	近藤 民代
京都大学 防災研究所社会防災研究部門 准教授	関口 春子
京都大学 大学院工学研究科都市社会工学専攻 准教授	古川 愛子
京都大学 防災研究所 教授	矢守 克也

設置日

令和5年6月12日